

水道事業会計決算状況 ～水道料金が支える水道事業～

私たちの生活に欠かせない水道水をご家庭にお届けする水道事業は、皆様からいただいた水道料金を主な財源として、独立した会計で運営しています。

平成17年度の決算においては、上水道事業24,586千円、簡易水道事業28,915千円の当年度純利益となりました。



【上水道事業】

収益的収支（経営状況）

単位：千円

収入	水道料金			その他の収入	
	151,015				5,704
支出	職員の給与	減価償却費	その他	純利益	
	34,951	39,547	40,286		
	借入金利息				24,586
	17,349				

資本的収支（建設工事等）

単位：千円

収入	借入金	負担金	損益勘定留保資金
	17,600	2,889	27,060
支出	建設改良費	借入金償還金	
	14,593	32,956	

【簡易水道事業】

収益的収支（経営状況）

単位：千円

収入	水道料金		補助金	その他の収入	
	233,854		70,715		11,305
支出	職員の給与	減価償却費	その他	純利益	
	66,202	85,246	79,812		
	借入金利息				28,915
	55,698				

資本的収支（建設工事等）

単位：千円

収入	借入金	補助金	負担金	損益勘定留保資金
	29,600	14,720	32,786	84,596
支出	建設改良費	借入金償還金		
	66,754	94,948		

快適で豊かな生活を提供するため、さらに充実を図ってまいります。また、健全な運営と財政基盤の確立は、ひとえに皆様が使用された水量の増大によって確保されていくことから、水道事業に対する一層のご理解とご協力をお願いいたします。

さつま町が「景観行政団体」に!! (鹿児島県町村第1号)

～景観づくりによるまちづくりがはじまります～

さつま町は「景観法」に基づき10月27日鹿児島県知事の同意を得て、12月1日に「景観行政団体」となりました。

町の北部には標高1,067mの「紫尾山」があり、緑豊かな森林や竹林資源に囲まれた農村部では日本の原風景を思わせる四季折々の姿を見ることができます。

また、町の中央を南九州一の大河である「川内川」が貫流し、ゆったりとした流れや轟く瀬にたくさんの川魚や野鳥、無数のホタルが生息しています。

さらに、温泉も町の各所に湧き、湯量が豊富で泉質が良く歴史ある“温泉のまち”として名声を誇っており、山紫水明の恵まれた自然と温泉で癒される町です。

さつま町は、今後、これらの個性と魅力を最大限に活かしながら、自然環境と調和した景観づくりや地域の歴史・文化自然景観に配慮したまちづくりなど、町民との対話を大切にしながら、町民自らの計画として、共生・協働による景観づくりを進めます。

次世代にキチンと受け継ぐ町づくりを目指します。

＜景観行政団体として目指すもの＞

- (1) 美しく魅力あるふるさとを町民とともに創造する景観づくり
- (2) 川内川に親しみ、ふるさとの誇りとなす景観づくり
- (3) 川辺に無数のホタルが乱舞する景観づくり
- (4) 郷土の文化・歴史遺産を活かした景観づくり
- (5) 自然と温泉で癒し空間を提供する景観づくり

